

一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会審査日程

日時 平成30年12月17日（月）

総務文教常任委員会終了後

場所 第1委員会室

議案第117号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）について

補正予算第7回

審査番号①

- (1) 繰越明許費に係る説明
 - 2款1項 シティセールス課
（繰越明許費補正：市民館改修事業）
- (2) 質疑

※1 審査の進行状況により、審査の前倒し、先送りを行うこともあります。

市民館改修事業 工事延長及び休館スケジュールの変更について(予定)

H30.12.17現在

年	平成30年度												平成31年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
耐震補強工事と改修工事													<p>文化ホール建築改修工事</p>											
													<p>共用スペース部建築主体・改修工事(EV工事を含む)</p>											
													<p>文化ホール耐震改修等工事監理業務委託</p>											
文化ホール	休館																							
体育ホール	休館												休館											

平成 30 年 11 月 22 日

土地・建設産業局建設市場整備課

建設現場の高力ボルト需給ひっ迫を受け緊急調査を実施 8割強で工期に影響

～「高力ボルトの需給動向等に関するアンケート調査」の結果を公表～

国土交通省では、建設現場での高力ボルトの需給ひっ迫の声を受け、10月25日より全国で「高力ボルトの需給動向等に関するアンケート調査」を実施しました。

調査の結果、需給動向は全国的に“ひっ迫”傾向にあり、納期も通常より長期化している傾向が確認されました。また、将来（3ヶ月後）においても同様の傾向が予想される結果となりました。

※高力ボルト：建物の鋼材などの接合に使われる高い強度を持つボルト

1. 調査

- (1) 調査対象：鋼材関係を取り扱う供給側及び需要側の558社
- (2) 調査項目：『価格・需給動向』、『納期の状況』、『関連する工事の工期への影響』等
- (3) 調査期間：平成30年10月25日～11月2日
- (4) 調査方法：アンケート
- (5) 有効回答：305社（回答率：約55%）
うち、高力ボルトの取扱いありと回答したのは159社

2. 結果

- (1) 需給動向：「ひっ迫」
「緩和」「やや緩和」「均衡」「ややひっ迫」「ひっ迫」を1～5点として回答。全国平均4.76。
- (2) 価格動向：「やや上昇」
「下落」「やや下落」「横ばい」「やや上昇」「上昇」を1～5点として回答。全国平均4.28。
- (3) ひっ迫の状況：
 - ・工事種類では建築が53%、土木が34%
- (4) 要因として聞かれた声：
 - ・再開発を含めた建築等の需要が旺盛
 - ・ボルトメーカーに対する材料供給が追いついていない 等
- (5) 納期及び工期への影響：
 - ・高力ボルト（全般）の納期は、通常時の約1.5か月程度から約6か月程度まで長期化している
 - ・回答があった社の8割強で工期に影響があると回答

【問い合わせ先】

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室
TEL:03-5253-8111（代表） 03-5253-8283（直通） FAX:03-5253-1555
課長補佐 鷲尾（内線 24863） 資材係長 小西（内線 24864）